



学校だより

令和元年6月27日

横浜市立高田中学校

7月号(第31-03号) TEL: 591-4183 校長 横田 由美子

第24回体育祭

6月19日(水)に第24回体育祭が本校グラウンドで開催されました。本来は15日(土)に開催の予定でしたが、雨天のため行えず、また予備日である翌16日(日)、20日(木)もグラウンドの状況、天気の情報を見極めた結果、行わないこととし、19日(水)に決行することにいたしました。保護者の皆様、来賓の皆様、地域の皆様には予定の変更によりご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。

生徒たちは数回にわたるグラウンド整備や準備に生き生きと積極的に取り組みました。仕事を協力し合ってきたと終わると、他の仕事を手伝おうという気持ちが自然に生まれ、見ていてとても気持ちの良いものでした。おかげでいずれの準備においても予定時刻より早く終わることができました。

当日は晴天のもと無事実施することができました。競技の順位が遅くなった生徒も最後まで全力で取り組み、それを声の限り応援する姿がほほえましく、またすがすがしく感じられました。その友達の応援が励みになり、頑張れたという感想が生徒から出ました。各学年種目においては昼休み等の練習の成果が出て、見事なチームワークを発揮していました。練習の成果を最大限出し尽くそうとする生徒たちの熱気が感じられました。部活動対抗リレーでは真剣勝負あり、パフォーマンスありで観客の皆さんに和んでいただくことができました。教員も教育実習生と共に出場し、こっそり練習した成果を発揮していた教員もいました。

高田中の体育祭で毎年言われる「①ラジオ体操がしっかりとできる。②競技に最後まで真剣にしっかりと取り組むことができる。③応援席での応援がしっかりとできる。④係活動では、自分に任された仕事をきちんと行う。」が今年も発揮されていました。同じ目標に向けて取り組むことで生まれたクラスの団結力をこれからも生かして過ごして行ってほしいと思います。保護者の皆様、来賓の皆様、地域の皆様にはご声援を頂きまして誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

体育祭実行委員長 3年2組 柿沼 咲良さんのことば

私は1年生から体育祭実行委員会に毎年行っていて、先輩方が委員長をやっている姿を見て私もやってみたいと思い、委員長に挑戦しました。人前に立って話すのが苦手な私は、主に前に立つ委員長としてやっていけるのか不安で

したできたと思います。私は実行委員長として体育祭まで活動してきました。実際に活動してみると、委員長にならないとわからない大変さがたくさんありました。実行委員は最高の体育祭にするために、日々様々な活動を行ってきました。

放課後や朝の時間を使って、準備をしてくださった生徒や先生方、私はその光景を見て、実行委員だけでなく全員で創り上げているということが改めてよく分かりました。忙しい中、準備や作業をしてくださりありがとうございました。競技が始まると、予想以上の盛り上がりがあり、すごく活気がありました。また、学年種目は、各クラス当日まで様々な努力をしてきたと思います。結果も大事かも知れませんが、どのクラス、学年も大きな絆、団結を得ることができたのではないのでしょうか。

私は体育祭までの日々をとおして、仲間の大切さを改めて感じることができました。体育祭では日常で当たり前を感じていることも大きなことであると感じたと思います。皆さんにも体育祭で感じたことをぜひ忘れずに今後につなげて行ってほしいです。

一年生の皆さん、来年は後輩が入り、先輩をサポートする大切な役割が与えられます。仲間と助け合いながら、思い出に残る体育祭にしてください。

二年生の皆さん、後輩が入り、どんな場面でも先輩をサポートする二年生は大変だったと思います。しかし、来年は赤学年の皆さんが主役の体育祭です。悔いの残らぬよう、今年を超える最高の体育祭を創り上げて行ってください。

三年生の皆さん、一人ひとりが声を出し、クラスを超え、学年で団結できたと思います。皆さんにとって記憶に残る体育祭になっていれば幸いです。

学校・家庭・地域連携事業 実行委員会の開催

5月29日（火）の午後3時から学校・家庭・地域連携事業（以後、学家地連）実行委員会が本校図書室で開催されました。学家地連とは、学校・家庭・地域が連携し、それぞれが持つ教育機能を発揮することにより、次代を担う児童・生徒をはじめとする青少年が、自立心を持ち人間性豊かに育つことを目的に、それぞれの地域の実情にあった事業を推進していくというものです。

当日は、昨年度の事業報告、決算報告、平成30年度の事業計画、予算が提案されました。学家地連の取組は、上記の目的をめざして多くの行事として行われます。その一つ、高田町連合町内会主催の「たかたの丘音楽会」は町内会のご理解とご協力により、今年度より本校学家地連の協力事業となり、6月10日(日)



本校体育館で行われました。音楽を通して地域の方々と児童・生徒が交流し、本校吹奏楽部も最後に出演し、会場を盛り上げました。半日と短い時間となりましたが、有意義な時間を過ごすことができました。これからも高田地区の子どもたちの健全育成にむけて、より良い連携へとなるよう活動していきます。

教育実習

6月4日(月)から22日(金)まで、本校の卒業生が教育実習を行いました。中学生だったときと学校の印象が大きく変化したようです。実習の感想を寄せてもらいました。

平成22年度卒業 藤山 香恋さん

素直で思いやりのある生徒さんに囲まれ、これ以上ないほど濃密で実りの多い3週間をおくることができました。かつて自分が座っていた机と椅子を前にして教壇に立つという経験は大変感慨深く、どこか不思議でもありました。



私の拙い授業に対し、先生方の温かく真摯なご指導を賜り、生徒さんの優しさに支えられながら学び過ごした日々は何ものにも代えがたい思い出です。生徒の皆さん、心と身体の健康と自分らしさを大切にこれからも頑張ってください。応援しています！！

平成23年度卒業 岸田 夏輝さん

6年ぶりに帰ってきた高田中学校で教育実習をさせていただいて、最も勉強になったことは、場の空気を操る能力が教師には必要だということです。人と関わることが多いからこそ「この教科を教えたいから」「子どもが好きだから」といった感情だけではなりきることのできない教師という仕事の奥深さを感じました。高田中学校の先生方のように、生徒のことを多角的に考えて接することのできる教師になりたいと思いました。

